

# 山城小だより



<学校だより>

H28. 9. 8 (木)

校長：長谷川 彰

## ☆学校教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

○自ら学び深く考える子ども

○心美しい思いやりのある子ども

○明るく健康でたくましい子ども



2学期が始まって2週間が過ぎました。私は、始業式の話の中で、次のような内容を子どもたちに話しました。

「今年の夏は、オリンピック一色でした。水泳のマイケル・フェルプス選手や陸上100mのウサイン・ボルト選手のように10年以上金メダルを取り続けている人もいました。

**日本チームの選手**について感じたことは、このオリンピックでは、いくつかの競技で『最後まであきらめないことの大切さ』でした。**柔道・水泳・レスリング・体操**でのメダルラッシュもそうだったのですが、校長先生にとって、本当に心に残ったメダルシーンが2つありました。

一つは、**バドミントン女子ダブルス**（高橋選手・松友選手）決勝の第3ゲーム16対19からの5連続得点で金メダルに輝いたことでした。

もう一つは **陸上男子400mリレー**（山縣選手・飯塚選手・桐生選手・ケンブリッジ選手）決勝でした。個人記録では4人も10秒台でしたが、力を合わせると100mで9秒台のいる外国のチームにも勝つことができました。

さて、2学期は**運動会**、さらに、6年生にとっては**陸上記録会**があります。本番当日の競技の中で、最後まで**あきらめない**ことはもちろん大切なのですが、毎日練習をしていく中でも「大変だからこれくらいいいや」とか、「つらいからもうだめだ」と**本気を出さずにあきらめてしまう**ことは絶対よくないと思います。

さらに、運動もそうなのですが、**勉強や習い事などその他のことも同じ**ではないでしょうか。**目標を決めて何かを続けている**時は、決して最後まで『**あきらめない**』ください。そんな2学期にしてほしいと思います。」

低学年の子どもたちにとっては、ちょっと難しい話だったかもしれませんが、それでもしっかりと聴いてくれました。

お家の皆さんも**何事もあきらめないで最後まで頑張る**よう、子どもたちに応援をお願いします。

